



「おひさまきらきら えがおいっぱいなんざんようちえん」

## 南山幼稚園だより

6月号

平成27年5月29日

港区立南山幼稚園

### 幼稚園・小中学校の連携

いよいよ明日は、小学校との合同運動会です。

園児は、広々とした校庭で、かえるやおたまじゃくしになって踊ったり、ゴール目指して力いっぱい走ったりします。幼稚園では、運動会の取り組みを通して、思いっきり体を動かすことを心から楽しむ体験をさせたいと考えています。そこで、子供たちの状況を捉えて、やる気を引き出す場の設定や言葉かけを工夫して、一人一人が十分に力を発揮できるようにしてきました。

また、子どもたちは、小学生の練習を間近で見ながら、運動会に向けて、気分を盛り上げてきました。太鼓のリズムに合わせて手拍子や大きなかけ声が聞こえてくる応援合戦。華やかなダンス、かけ声の勇ましい踊り、そして、力を合わせてつくり上げる組体操など、小学生の練習が始まると、子供たちはそれらに見入っていました。併設園ならではの貴重な体験を通して、子供たちは、明日の運動会を楽しみにしています。

さて、港区では、それぞれの中学校校区(アカデミー)にある幼稚園・小学校・中学校が連携して幼・小中一貫教育をすすめています。育ちと学びをつなげ、発達の一貫性を大切にした教育をすすめていくことをねらいとしています。南山幼稚園は「六本木アカデミー」です。六本木中学校、麻布幼稚園・小学校、東町小学校、南山小学校の4校2園が連携した幼・小中一貫教育です。

6月26日には、「六本木アカデミー」の先生方に南山幼稚園に集まっていただきます。先生方に保育をみていただき、「遊びを通して主体性を育てる」ことが幼稚園教育にねらいであり、主体性を育てるために環境作りや教師の援助を工夫していることを伝えていきたいと思えます。そして、幼稚園の育ちが小学校の学びにスムーズにつながっていくように、教員同士の連携を継続して行っていきたいと考えます。

南山小学校とは、併設しているからこそできる日常の交流をさらに深めていきたいと考えています。

さあ、明日、子供たちは、小学生と一緒に参加することや大勢の方に応援していただくことが嬉しくて、ますます張り切ることでしょう。中には、いつもと違う環境に戸惑う子供もいるかもしれませんが、一人一人の子供の気持ちに寄り添い、それぞれが力を発揮できるよう励ましていきます。保護者の皆様も、御声援をよろしく願いいたします。小学生への応援もお願いいたします。

園長 和田 京子

### 6月のねらい



#### ◎3歳児 りんご組

○自分の使ってみたい遊具や、気に入った場で遊びを楽しむ。

室内や戸外でそれぞれが好きな遊びを見つけています。子供たちが、自分から遊具に関わり、やりたい遊びを十分に楽しむ経験を積み重ねられるようにします。

○着替えや靴の履き替えなどの身のまわりの支度を、自分で行なおうとする。

入園して2か月で、朝の支度や降園の支度など、いろいろなことができるようになりました。できるようになったことを認め、トイレや手洗い、着替えなど、自分でやってみようとする姿になるように、援助していきます。

## ◎4歳児 ばら組

○学級の友達と関わって遊ぶことを楽しむ。

友達と同じ場で遊んだり、同じように動いたりする中で、友達と関わる機会がもてるようにしていきます。また、友達と楽しく過ごすには必要な言葉があることを知り、言葉で自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちが分かったりできるようにしていきます。

○雨の日の安全な生活の仕方や約束を知り、守ることで安心して過ごす。

梅雨の時期の室内での過ごし方、雨具の始末の仕方を知り、身に付けて、安全に過ごせるようにしていきます。

## ◎5歳児 さくら組

○友達と遊びや生活の中で、考えや思いを伝え合いながら進めていくことを楽しむ。

遊びや当番活動などを行う中で、関わり方をとらえ、言葉で表し相手に伝えていき、伝わることを通して、仲間と進めていく経験を積み重ねていけるようにします。

○グループの友達と目的をもって行事に取り組み、できた満足感や達成感を味わう。

グループの友達と一緒に、「お店屋さん」の活動に取り組み、内容を相談したり、作り方を考えたりして協力して作り上げていく過程を経験していきます。また、当日は、3、4歳児や未就園児、保護者の方などをお客さんに招き、楽しんでもらうことで、できた満足感や達成感を味わえるようにします。

### 南山幼稚園と南山小学校 連携の生活のめあて

## 「手をきれいに洗おう」

